住宅時評

トレンドを斬る

ハウジングライター 藤原利彦

□1128□

キッズデザイン賞、新しい生活様式で競う

今年の受賞は234点

SDGsやオンラインも脚光

8月25日に発表された今年のキッズデザイン賞受賞作品は234点。応募件数は昨年より10件増加したが受賞は3件減少。キッズデザイン協議会では、今年のトピックスとして次の3点を挙げる。①子どもが元気に生き抜く力をサポートする作品に「BEYOND COVID19特別賞」を新設したこともあって、新しい生活様式に対応した製品・サービスの充実と一層の拡充、②SDGsの実現に向けての取り組みの加速、③オンライン関連の製品やサービスの増加。こうしたトレンドのなか、住宅メーカーや住宅関連設備メーカーの受賞が目立った。

注目企業はポラスグループ、7点も受賞した。キッズデザイン賞の受賞は3年連続、通算12点。「住育」「子どもの孤独」「子どもの想像を創造する」をテーマとしたデザインブランド『HITO−TO−KI』（中央住宅）、広場のように自然と家族が集まり、自由に居場所を変えられる空間『FREE−IMA』（ポラスガーデンヒルズ）、子どもたちに多様な居場所を提案したジャングルジムのようなマルチなリビングダイニング『チャイルドマルチリビング』（グローバルホーム）など7点。

積水ハウスも7作品が受賞。大きな樹の下にいるような暮らし『KOKAGE LOUNGE』、次世代室内環境システム『スマートイクス』、ファミリースイートおうちプレミアム『かぞく寝室』など6作品。

旭化成ホームズも、子育て家族のコミュニティ創造型集合住宅『子育て共感賃貸住宅母力』、共働き子育て世帯に向けた新しい暮らしに対応する家『onefitto』、新築マンション入居者向けアプリ『GO KINJO』の3点が受賞している。

ミサワホームは『SMART BrandsWS』など3点、その他、一条工務店『耐水害住宅』なども受賞している。

住宅設備・建材メーカーも新しい生活様式に向けた製品を積極的に投入、例年よりも受賞点数は多い。LIXILは15年連続の受賞で、『高所窓用電動ユニット』『網戸ストッパー』『どこでも手洗い』『タッチレス水栓ナビッシュ』、家の過ごし方が多様化する中、パーティションユニット『Multi iWorkStudio』など7作品。グループのLIXIL住宅研究所の2点（『すごい家』、『DAYS+』）を含めると9点の受賞。

YKKAPも10年連続の受賞で、今年は、有効開口幅を広げることができる『リフォーム玄関引戸』、顔認証で玄関ドアの施解錠ができる『スマートコントロールキー』、おうち時間を充実させる『ウチソト空間』の3点。

三協立山三協アルミ社もバルコニー『オルネ』と『DI窓（ダイナミックインシュレーション窓）』の2点が受賞。『オルネ』は、窓の外の空間を有効に活用することにより、外出を控えている状況でも自宅でアウトドアを楽しめるバルコニー。『DI窓』は、窓を開けずに換気ができる二重窓である。

9月29日に発表される最優秀賞・優秀賞が楽しみである。